

事業概要シート

施策 1602 観光客受入体制の整備

《》の金額 現年度当初・補正予算、前年度繰越額の合計
 ※補正予算要求時は今回の補正予算額を除く
 ※次年度予算要求時は次年度繰越額を除く

事業名	大村市シュガーロード魅力向上事業	現状維持	予算額		2,169 千円
			《	》	3,068 千円
事業期間	令和3年度 ~ 令和4年度	財源内訳	国庫支出金	350 千円	
			県支出金	千円	
根拠法令要綱等			地方債	千円	
			その他	千円	
			一般財源	1,819 千円	

【事業の目的・概要・対象】

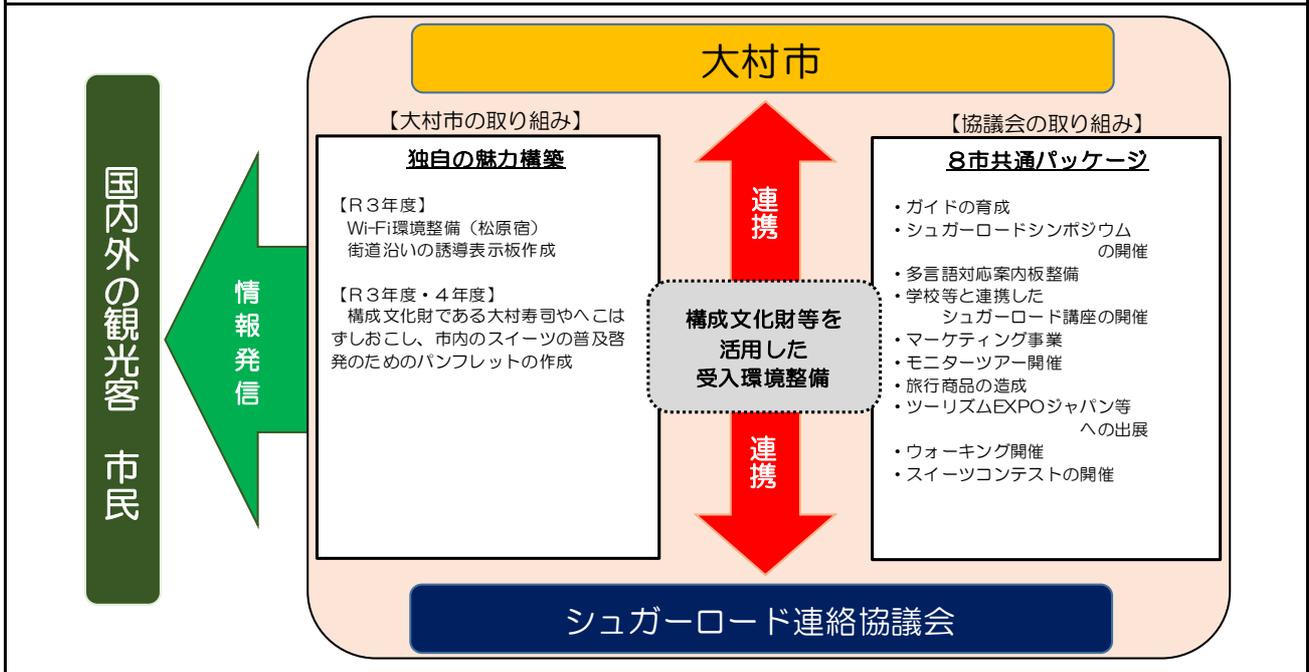
(目的)

長崎県(長崎市、諫早市、大村市)、佐賀県(嬉野市、小城市、佐賀市)、福岡県(飯塚市、北九州市)の8市の地域が「砂糖文化を広めた長崎街道～シュガーロード～」のストーリーで日本遺産の認定を受けたことに伴い、沿線市の中でも本市を訪れたい場所として選んでもらえるよう、本市に関わる長崎街道やスイーツの魅力を積極的に情報発信し、国内外の観光客に対応した受入環境整備を行い、更なる交流人口の拡大に努めることで、関係人口の拡大に繋がり、賑わいのあるまちづくりを目指す。

(概要)

日本遺産に認定された構成遺産や本市のスイーツをPRするためパンフレット作成する。長崎街道の魅力向上のため、Wi-Fi環境を整備するなど長崎街道に関わる観光施策に取り組み、観光客受入のための環境整備を行う。

(対象) 観光客、市民



【背景】

大村市はこれまで、長崎市、諫早市、嬉野市、小城市、佐賀市、飯塚市、北九州市の7市とシュガーロードに関するストーリーについて、日本遺産への申請を行ってきた。令和2年度、5度目の申請で「砂糖文化を広めた長崎街道～シュガーロード～」が日本遺産に認定された。構成文化財として、本市の特産品である「大村寿司」や「へこはずしおこし」、歴史的観光資源「松原宿」、「おこし製造道具」も日本遺産に登録された。今年、新型コロナウイルスの影響で激減した観光客を本市に呼び込むため、日本遺産認定を契機に構成文化財等を活用した観光施策が重要である。

担当課	産業振興部観光振興課	課長	上野 秀徳
担当者	辻丸 理絵	問合せ先	0957-53-4111 (内線242)

事業概要シート

【活動指標】

指標名		単位	R2 (実績)	R3 (計画)	R4 (計画)	R5 (計画)	R6 (計画)
①	スイーツパンフレット制作（多言語）	計画値 多言語 対応数		1	4		
②	シュガーロード連絡協議会会議（イベント含む）	計画値 出席回数		3	3		

【成果指標】

指標名		単位	R2 (実績)	R3 (計画)	R4 (計画)	R5 (計画)	R6 (計画)
①	ホームページ閲覧者数 （シュガーロード連絡協議会）	計画値 ビュー数		2,400	2,640		
②	長崎街道松原宿観光客数 （2月下旬～3月下旬）	計画値 人	4,500	4,000	4,500		

【予算・決算】（千円）

事業費は当初・繰越・補正予算の合計額

年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6	合計
事業費	0	0	3,068	2,169	0	0	5,237
国庫支出金			175	350			525
県支出金							0
地方債							0
その他			2,893				2,893
一般財源			0	1,819			1,819
人件費	0	0	1,527	1,527	0	0	3,054
職員(人)			0.21人	0.21人			0.42人
時間外勤務(h)							0h
会計年度任用職員(人)							0.00人
フルコスト	0	0	4,595	3,696	0	0	8,291

妥当性 （市の関与）	本市の観光素材の積極的なPRや受入環境整備など独自の魅力を構築する観光施策を行うことで、交流人口の拡大に繋がることから、積極的な市の関与が必要である。
有効性 （施策貢献度）	新型コロナウイルスの影響を受けている本市の観光業復興のために、日本遺産の構成文化財を活用し、観光客の誘致・増加に繋げる事業は観光振興の施策として効果が高い。
効率性 （コスト）	本市の独自の事業については、空港環境整備機構等の助成金を活用し取り組んでおり、削減の余地はない。

1次評価	担当者意見のとおり
2次評価	1次評価のとおり